

RSK山陽放送株式会社



企業概要

1953年創業。ラジオ・テレビ兼営の民間放送事業会社。「地域とともに」の社是のもと、岡山・香川エリアにおいて放送事業を行ってきました。2019年ホールディングス化により、RSK山陽放送はRSKホールディングス内で放送部門を担う事業会社となりました。日頃の放送活動を通じ、エリアの発展への貢献に尽くすとともに、地域の課題を当エリアだけではなく全国に発信しています。

問い合わせ先

担当部署 / 秘書室

岡山市北区天神町9番24号
 TEL 086-225-5541
 FAX 086-225-1585
 E-mail uchida@rsk.co.jp(室長 内田 章文)
<https://www.rsk.co.jp/>

瀬戸内からつながる未来へ — 私たちの行動一つひとつが未来につながる —

SDGsに取り組む 岡山市内の企業 | 50



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

日常の放送活動の中で、地域の環境、貧困、人権、教育について地域の皆さんと連携し引き続き取り組んでゆきます。それら課題は時代が変わっても、形を変えて常に我々のそばに存在します。地域全体に認識を拡げ、解決に向けてパートナーシップを組みながら粘り強く取り組んでゆきます。

取組内容

- 1.生活者に伝える。残す。ともに行動する。**
 ニュースやドキュメンタリー番組「メッセージ」を通じ地域の課題解決に向けて取り組んできました。また、協賛社と連携した「ごみポイ捨て防止プロジェクト」や「海ごみゼロプロジェクト」などキャンペーンに取り組んできました。また、ニューススタジオも隈研吾氏と共同で木材の再利用を図ることを体現する取り組みも行っています。
- 2.地域産業、経済界、教育機関との連携。**
 岡山は「SDGs先進県」。大学などの教育機関をはじめ、様々な団体との連携を推進します。
- 3.自らが行動する。**
 グループ企業全体でのサステナビリティの向上を目指します。

取組目標・目的

RSKホールディングスグループは2021年3月、国連の「SDGメディア・コンパクト」に加盟し、弊社独自のSDGsへの取り組みの実践は勿論、地域の企業や団体が取り組んでいるSDGsに関する活動をラジオ・テレビの番組を通じて広く紹介し、SDGsに関する関心や意識の高揚を図ることを目的とします。遂行にあたっては、体裁の良さや完成形を意識してしまいがちですが、むしろ過程を大切に等身大で取り組んでいきたいと考えています。



総務部 小松原 豊

担当者からのコメント

SDGsは地域の発展を持続可能にするものであり、地域経済を長続きさせるものと考えています。SDGsの前提である「誰一人取り残さない」という精神の下に展開される17の課題の大半は、弊社が創立以来70年近く放送活動を通じて解決に取り組んできた地域の課題にそのまま重なるものです。今後もSDGsをメディアとして応援し、活性化させることで企業の経営的基盤の安定化や地域の発展を前向きな形でリンクさせ、促進してゆく一助になるのではないかと考えています。

アイサワ工業株式会社



4 質の高い教育を
みんなに



企業概要

創業 1912年5月
会社設立 1939年7月
事業内容 総合建設業

問い合わせ先

担当部署 / 総務部

岡山市北区表町一丁目5番1号
TEL 086-225-2151
FAX 086-232-9062
E-mail valkyrie@aisawa.co.jp(総務課長 長山勝敏)
<https://www.aisawa.co.jp/>

放課後児童クラブの活動に協力



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

- ・ 建築廃材の有効活用
- ・ 地域の子供たちへの教育機会の提供・支援

取組内容

利用後は産業廃棄物とする他に用途が無かった建築廃材(建築材料カタログの実物サンプル)を収集、子会社のアイサワ商事を通じて地域の大学・短大の保育系学科に提供し、放課後児童クラブの活動(廃材を利用して子供たちが造形作品を制作する教育活動)を支援しています。

取組目標・目的

産業廃棄物の排出を減少させる事による環境負荷の低減。
地域の子供たちの教育機会への支援。



事務本部 部長 村上 知行

担当者からのコメント

放課後児童クラブの指導に当たっている各大学・短大から好評を得ています。地元商店会とのコラボレーションにより、空き店舗を利用した児童の作品の展示・販売を計画中です。

ITプラン株式会社



9 産業と技術革新の
基盤をつくる



8 働きがいも
経済成長も



企業概要

2008年に岡山市に設立し、ITコンサルティング、経営コンサルティングを主に行っています。関西、中国、四国地域を中心にビジネス展開しており、中小企業向けDX/IT戦略遂行支援、経営改善・企業再生支援を得意とします。2019年に地域限定旅行業を開始しています。

問い合わせ先

担当部署 / 本社

岡山市北区広瀬町11番17号
TEL 086-224-0310
E-mail strategic-it-consultant@otafumio.com
<https://www.itplan-global.com>

地域と中小企業の「産業と技術革新の基盤作り」に貢献



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

中小企業は、日本の全企業数のうち99.7%、従業者数は全体の約7割を占めます。また、日本の企業では、生産性向上が喫緊の課題となっています。こうした状況の中で、得意とする「ITと財務」の分野でお役に立ちたいとの思いから、現在の活動を開始しました。地域の中小企業のお役に立ち、また、地域の素晴らしいところを全国、そして世界にアピールしていくことが、地域経済の発展につながると信じて活動を始めました。

取組内容

- ・ 当社は、同一労働同一賃金の賃金体系を実施しています。また、取引先等への出張を除き、「テレワーク勤務」を原則としており、短時間でも働きたい方、子育て・介護しながら働きたい方、などを柔軟な勤務体系で採用し、雇用拡大に貢献しています。(SDG5・8に貢献しています)
- ・ 中小企業に対して「9. 産業と技術革新の基盤を作る」「8. 働きがいも経済成長も」を解決するITコンサルティング、経営コンサルティングサービスを主に提供しています。

取組目標・目的

- ・ 社員一人一人が、それぞれITスキル、業務スキルを高め、各々の入社時の夢・目標を実現できる会社を目指します。
- ・ 中小企業の「9. 産業と技術革新の基盤を作る」「8. 働きがいも経済成長も」を実現するために、中小企業のDX/IT戦略/事業計画策定・遂行支援に引き続き取り組んでまいります。
- ・ 「17. パートナリシップで目標を達成しよう」を実現するために、自社単独では実現できないような、他社と連携した新商品/サービスの開発や、新たな販売方式の導入を行ってまいります。



本社 代表取締役 太田 記生

担当者からのコメント

我々、中小企業にとっては、自社ビジネス自体がSDGsに直結していることが多いと思います。新たにSDGsに取り組む、と考えるよりも、現在どのようにSDGsを実践しているか、を振り返ることが重要だと思います。

浅野産業株式会社



企業概要

岡山県を中心に鳥根県東部、鳥取県西部、広島県東部に営業エリアを持つLPガス会社。
明治元年の創業当初は薪・木炭を取り扱い、一貫してエネルギー供給で地域社会に貢献。
生しいたけ等の生産・販売等で食に貢献。

問い合わせ先

担当部署 / 総務部

岡山市北区南中央町12番16号
TEL 086-224-4471
FAX 086-224-4491
E-mail saiyou@asano-sangyou.co.jp
<https://www.asano-sangyou.co.jp/>

イオンモール株式会社 イオンモール岡山



企業概要

本社は千葉県千葉市。「地域とともに『暮らしの未来』をつくるLife Design Developer」を経営理念に、日本全国、及び海外(中国、ベトナム、インドネシア、カンボジア等)において、地域に根差したショッピングモール運営を目指して、開発、管理運営を主に行っています。
イオンモール岡山につきましては2014年12月にグランドオープン。ファッション、ライフスタイル雑貨、フード、グルメ、エンタメ、サービス等々、総数300を超える多種多様な専門店が来店する、西日本エリアで最大級のイオンモールとなります。

問い合わせ先

本社/千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
イオンタワービル
イオンモール岡山/
岡山市北区下石井一丁目2番1号
TEL 086-803-6700(代表)
<https://aeonmall-okayama.com/>

クリーンエネルギー「LPガス」を通じて 地域社会の健康で快適な暮らしをサポート



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

LPガスは化石エネルギーの中でも地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の排出量が少なく、大気汚染の原因とされている窒素酸化物や硫黄酸化物もほとんど排出しないクリーンエネルギーです。LPガスの普及を促進することで低炭素社会を目指し、これから先も地域の皆様の健康で快適な暮らしに貢献をしたいと考えました。

取組内容

- ・ 社有車にLPガス車を導入し、CO₂削減に貢献。
- ・ 岡山県下にLPガスの中核充填所を5箇所保有。災害時にも安定供給ができ、LPガスで発電する非常用発電機も常設しているため、地域社会の安全を守ることができます。
- ・ 食品事業部では地元保育園・幼稚園を対象にした栽培体験を行い、食育の一貫として農産物を育てる楽しみ及び食の安全を知ってもらう機会を提供。

取組目標・目的

「24時間おまかせ暮らしのパートナー」として、災害に強く、クリーンエネルギーであるLPガスの普及を推進していくとともに、エネルギー供給を通して地域社会の発展に貢献することを目標としています。

担当者からのコメント

持続可能な社会の構築に参加することは、地域社会の健康で快適な暮らしをサポートすることだけでなく、地元産業の活性化とエネルギー事業の強固な基盤作り、そして新たな事業拡大へのきっかけづくりになり、社員一人ひとりの働きがいと豊かな生活を守ることにつながると感じます。社会の一員として課題解決に向かって、進んでいきたいと思っています。

人事部兼総務部 田中 望稀

衣料品回収プロジェクト



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

当初は、お客様から回収した衣料品に対して、当モールでご利用頂けるお買物券をお渡しするという販売促進的な企画内容でありました。そして、回収した衣類については、再利用可能なものは再素材化(リサイクル)するという内容でありました。
しかしながら、回収した衣類を見てみると消費社会の現状というか、状態が良く、再利用(リユース)、または再生価値化(リメイク・アップサイクル)できる物が多く見受けられましたので、2020年11月の企画実施のタイミングで従来の内容に新しい要素を加味し、刷新いたしました。

取組内容

新たな企画として、「繊維のまち児島」の4企業と協力し、従来の「素材として再利用」する事に加え、「再染色して地元で販売」「新ブランドの生地として再利用」「繊維を使ったお客様向けワークショップの原料」に回収した衣類を活用するなどの取組に務めた結果、お客様からは回を追う毎に好評を得ております。
※2019年7月からスタートし、今までに7回実施しています。2020年11月より企画内容に、回収した衣類の「リユース」「リメイク」の要素を強めるべく、児島の企業と連携して、企画のブラッシュアップに取り組んでいます。
①2019年7月12日～15日 ②2019年9月6日～8日
③2019年11月22日～24日 ④2020年11月20日～23日
※企画内容をリニューアル。④を改めて「第1回」目の衣料品回収プロジェクトとして実施。
⑤2021年4月25日・26日 ⑥2021年10月8日～10日
⑦2021年11月27日・28日

取組目標・目的

衣類に限らずのお話となりますが、日本はモノに溢れている幸せな国であると思いますが、モノづくりには様々なバックグラウンドがあり、それを使用する側は、モノを処分される際にその後の事にも意識をむける、気配りが必要な時代ではないかと考えます。当モールにおいては、衣類を販売しているアパレル専門店が非常に多いということもあり、スタートとエンドという意味で、こうした企画の場をお客様にご提供することは、何かした意義があるのではないかと思料する次第です。今後とも持続的に取り組んでいきたいと考えております。

担当者からのコメント

最近では、お客様から「次はいつ開催しますか?」というお問い合わせも増え、媒体複数社からも取材を頂くなど取り組みが目の目を見始めているように感じています。実際にお客様からの衣類回収量も増えて来ております。この活動に社会的意義があると信じて、今後は更にご協力頂ける企業様を探索すると共に、引き続き企画のブラッシュアップに努めて参りたいと存じます。

プロモーションリーダー 黒部 達也

イキイキ 社会保険労務士事務所



企業概要

社会保険労務士事務所。人事関連のコンサルティング。
平成18年に創業。「イキイキ職場をプロデュースする」
を経営理念に、地元の中小企業の人事・労務・経営のお悩
みに寄り添うサポートを行っています。

問い合わせ先

担当部署 / 所長

岡山市北区下中野363番地102 成和第2ビル101
TEL 086-805-0401
FAX 086-805-0402
E-mail info@sr-miho.jp
http://www.sr-miho.jp/

3つのテーマでイキイキSDGs



解決したい地域課題・社会課題の内容、 活動を始めたきっかけ

働きがい=生きがいともいえるくらい、働く時間
は人生の時間で大きなウェイトを占めています。
働く時間が充実すれば人生の充実度は大きく違
うと考えますが、仕事の原因で心の健康を保てな
い方のご相談が増えていると感じています。
普段の仕事を通じてSDGsにも取り組みれば、この
ような経営の課題をクリアしながら、社会課題も
同時にクリアできるのではないかと思い活動を
始めました。

取組内容

3つのテーマで取り組んでいます

①花(つないで咲かせる)

- ・申請書類や各種資料の電子化推進
- ・掃除の際に古布を使い雑巾を洗う水を節約
- ・エシカル消費を意識したイキイキランチタイム(健康的な食事を職場で作って皆で食べる)など

②枝(伸ばして輝く)

- ・ワークとライフの相乗効果を考えた人生プランの作成
- ・人間力を総合的に伸ばすための勉強会
- ・職場の「不」を解消するための改善活動など

③根(広げて浸透させる)

- ・小学生向けのSDGs勉強会や職場体験会を開催(「働きがい」や「未来の地球」について一緒に考える)
- ・イキイキ職場づくりコンサルティング(四方よし経営のサポート)など

取組目標・目的

自分が主役の人生を送り、幸せを次の世代またその次の世代に確実に引き継いでいくことを目的にしています。

私たちの職場は当然のことながら、クライアント企業にも明日行くのが楽しい職場、一人ひとりが個性や能力を生かして輝ける職場づくりの支援をSDGsを通じて行います。

そして社員全員が働きがい(生きがい)を感じて働ける企業を増やしていきたいです。



所長 秋山 美穂

担当者からのコメント

何より自分たちが一番楽しんで取り組んでいます。
私たちの小さな取組みもコツコツと続ければ大きな力になる
と思うので、とにかく継続し取組むと同時にどんどん発信してい
きたいと思っています。

オージー技研 株式会社



企業概要

1949年に創業、「物理療法機器」「リハビリ機器」「介護用入浴
機器」など、医療・福祉機器の総合メーカーです。
2015年より、自社ブランド「OG Wellness」を掲げ、生涯現役
で活躍できる「ウエルネスな社会」の実現を目指しています。

問い合わせ先

担当部署 / 人事総務部

岡山市中区海吉1835番地7
TEL 0120-01-7181
FAX 086-274-9072
E-mail og.HQ.HRGA@og-giken.co.jp(課長 加藤 玄汰)
https://www.og-wellness.jp/

生涯現役社会の実現に向けて ～医療・介護・福祉への貢献～



解決したい地域課題・社会課題の内容、 活動を始めたきっかけ

超高齢化社会が進む現代において、平均寿命を上
回るペースで健康寿命(日常生活を制限されるこ
となく健康的に生活を送ることのできる期間)は
延伸していますが、その差はおよそ10年となっ
ています。平均して10年は通院や介護が必要と
されるという状況の中、医療・介護・福祉という社
会のライフラインを支える企業として、『生涯現
役社会の実現』を目標に様々な取組を始めまし
た。

取組内容

昇降式の平行棒とセットで利用できる免荷リフ
ト付きオーバーヘッドフレームや、車椅子のまま
でも有酸素運動が可能なリカレントバイクな
ど、新しいリハビリ機器の開発・製造に力を入れ
ています。

また、2021年4月より、産業用ロボットなどのメ
カトロニクス製品を製造する企業との業務提携
を開始。リハビリや介護の需要が増える一方で人
材不足という問題が発生しており、オージー技研
では、そのような問題を解決する方法の一つとし
て医療・福祉分野でリハビリロボットの普及を目
指す活動を開始しました。

取組目標・目的

オージー技研は、製品の企画・開発、製造、販売、メ
ンテナンスを一貫しておこなっております。「OG
Wellness」製品をご利用いただいているみなさ
んから頂戴したご意見を製品開発に反映するこ
とで、現場のニーズに合った製品づくりを心掛け
ております。いつまでも笑顔で元気に人生を送る
ことができるように、生涯現役社会の実現に向け
て、これからも挑戦を続けてまいります。



開発生産本部 開発部
杉 洋一郎 加藤 貴士

担当者からのコメント

医療・介護・リハビリ機器の総合メーカーとして、高齢化が日本だけの
問題ではなくなってきた今、世界中のお客様が元気に笑顔あふれる日々
を過ごせるように、「より良い製品を開発し世に送り出すこと」、「生涯
現役社会の実現」を使命に、従来の枠組みにとらわれることなく、リハ
ビリのサポートに挑戦し続けます。

岡山ガス株式会社



企業概要

岡山ガスは1910(明治43)年に創業。岡山市に本社を置き、お客さまの安全で快適な暮らしの創造に貢献することを基本理念に都市ガス事業を中心に事業を展開しています。

問い合わせ先

担当部署 / 総務部経営企画G

岡山市中区桜橋二丁目1番1号
TEL 086-272-3111
E-mail yasunori-yagi@okagas.co.jp
https://www.okagas.co.jp/

株式会社 岡山木村屋



企業概要

岡山県で直営店、専売店合わせて約80店を展開する創業100年以上の老舗パン屋。グループ企業に梶谷食品、岡山シティホテル、OKF、つるやがあります。

問い合わせ先

担当部署 / 社長室

岡山市北区厚生町三丁目1番20号
TEL 086-462-6255
FAX 086-462-4051
E-mail honbu@okayama-kimuraya.co.jp
https://www.okayama-kimuraya.co.jp/

天然ガスの普及拡大と省エネルギー活動の推進



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

地球温暖化が進み、豪雨や台風などの自然災害が頻発し、私たちの暮らしに大きな不安と被害をもたらしています。天然ガスは石油や石炭に比べCO₂の排出量の少ないクリーンなエネルギーです。岡山ガスはこれを普及拡大し、省エネを推進することで、地球温暖化の要因であるCO₂排出量の削減を図るとともに、政府が掲げる2030年NDC(2013年度比▲46%)達成に貢献します。

取組内容

地域の皆さまに環境にやさしくクリーンなエネルギーである天然ガスを安定的にお届けすることで、お客さまの安全で快適な暮らしの創造に貢献しています。また、ガス機器の高効率化、高度化も進んでおり、高効率給湯器や家庭用燃料電池(エネファーム)、ガス空調などの省エネ機器や創エネ機器の販売を推進することで、CO₂の削減のみならずお客さまに健康で豊かな暮らしを提供しています。

取組目標・目的

持続可能なまちづくりには、エネルギービジョンの構築は欠かせません。そのため、トランジション期の2030年に向けた取り組みとしては、石油・石炭から天然ガスへの燃料転換、コージェネレーションや燃料電池等の普及拡大など天然ガスの高度利用による省エネを推進し、CO₂排出量の削減を図ります。また、2050年のカーボンニュートラルな社会を実現するため、都市ガス事業に捉われないことなく、地域社会に貢献でき、地域の皆さまが必要とするエネルギーやサービスを提供する総合エネルギーサービス企業を目指します。



総務部経営企画G 八木 康徳

担当者からのコメント

岡山ガスは創業以来112年にわたり、地域に根差し、地域に支えられ、地域と共に発展してきた企業です。これからも都市ガス事業をベースに地域の発展の一助となれるよう活動していきたいです。

プラ及び廃棄ロス削減



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

食品ロスの削減については以前から取り組んでいましたが、近年の食糧問題、環境問題に関心が高まる中、当社も食品製造業としてSDGsの考え方に賛同し、強化に取り組んでいます。

取組内容

- ・性別問わず能力開発と就業の機会を提供しています。
- ・食品ロスの削減については、経営計画を作成し実行。併せて、プラの削減にも取り組み、買い物袋をプラから石灰石を主原料としたリサイクル可能な新素材(LIMEX)へ変更しました。
- ・取引先とのクリーンな関係の維持。

取組目標・目的

SDGsに取り組むことにより、長期的視野での社会課題の解決とSDGsの理念に共感する方の採用をしました。それによる企業価値のさらなる向上を図ります。



社長室 室長 野崎 雅行

担当者からのコメント

創業時から今日まで当社は「おいしいパンづくり」を基本理念に、地域社会に貢献し、地元で愛される「良い企業」を目指してきました。今後もSDGsに取り組みながら地域社会に貢献できる企業を目指してまいります。



企業概要

岡山市、岡山商工会議所及び(株)コングレ、西日本旅客鉄道(株)、両備ホールディングス(株)の民間3社が出資する第三セクターで、岡山市と管理運営委託契約を結び、展示会や会議を行うコンベンション施設、駐車場の利用料を主収入とし、独立採算方式で運営する株式会社です。

問い合わせ先

担当部署/
MICE推進部 MICE推進課

岡山市北区駅元町14番1号
TEL 086-214-1000
FAX 086-214-3600
E-mail occ-sdgs@mamakari.net
https://www.mamakari.net



SDGsへの取組を一層促進し、国内外に向けて情報発信する「おかやまSDGsプラザ」を設置



おかやまSDGsプラザ 夏の交流会2021

解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

取組のきっかけは、2014年に岡山コンベンションセンター等を会場に「ESDに関するユネスコ世界会議」が開催され、その後も岡山市がSDGs未来都市に選定されたり、岡山大学が全学を上げてSDGsに取り組むなど、岡山地域ではESD・SDGsの取組が活発に行われています。国内外の学会等が多く開催されている当センターは、そうした情報の交流と発信の拠点としての役割が担えと考えました。

取組内容

岡山市、岡山大学、岡山商工会議所、(一社)岡山経済同友会、(株)岡山コンベンションセンターの5団体を活動母体として、2019年11月、当センター内に「おかやまSDGsプラザ」を設置しました。各団体をはじめ企業や団体等のSDGsへの取組事例を紹介するパネル展示や動画放映、イベントやセミナーの開催や、2階ロビーにおいては障がいのある方が制作した絵画を常設展示するなど、SDGsの普及啓発や情報交流等の活動を行っています。

取組目標・目的

当社の中期経営計画(2021年度～2025年度)において基本経営方針のひとつとして「地域の魅力アップを支援し、施設の拠点性を高める自主的取組」を掲げています。具体的には、パートナーシップを拡大し推進するとともに、「おかやまSDGsプラザ」を活用した主催・共催事業を実施していくこととしています。



【MICE推進部 MICE推進課】
主査 荒川 佳暁
MICEコーディネーター 澤谷 優子

担当者からのコメント

2021年8月に「おかやまSDGsプラザ 夏の交流会2021」を企業11社と高校11校の参加のもと開催しました。小学生を対象としたワークショップや高校生によるSDGs企業訪問と活動発表を行い、SDGsを通じてそれぞれの立場を超えた交流が生まれるイベントになりました。今後も様々な方々がパートナーシップを築く一助となるべく活動していきたいと思っております。



企業概要

当金庫は、営業地域である「おかやま」の事業者様と個人のお客様を会員とし、相互扶助を目的に「中小企業専門性」「協同組織性」「地域性」の3つの特性を活かして地域に貢献する協同組織金融機関です。

問い合わせ先

担当部署 / 価値創造部

岡山市北区柳町一丁目11番21号
TEL 086-223-7672
FAX 086-226-2288
E-mail sien@okayama.shinkin.jp
http://www.shinkin.co.jp/okayama/

SDGsを通じてお客様の事業価値・生涯価値の向上と永続的な地域価値の向上を目指す



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

「地域のお客様とともにSDGsの様々な目標に取り組むことで地域価値の向上に資する。」
(きっかけ)
当金庫は、2020年度～2022年度の中期経営計画『「おかやましんきんEmpathyプラン」～Value Upの定着と深化に向けて～』において「おかやま」で一番身近な「おかやま」とともに成長することをビジョンとしています。さらなる地域価値の向上を目標に、お客様・地域に「共感」し、「共感」していただく取組みとしてSDGsを推進しています。

取組内容

「おかやま信用金庫は、金融を通じて地域社会の発展に尽くし、皆様の豊かな暮らしのパートナーとして努力します。」を基本理念のもと、普段からお客様に寄り添った課題把握活動を実施し「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しています。日頃の活動の一環として、以下の取組みを実施しています。
①岡山市、玉野市、倉敷市の家庭ごみ排出量の削減率やリサイクル率により金利上乗せとなる「SDGs定期預金」の取扱い。
②SDGsに関する活動をおこなっている企業・団体・個人のお客様を表彰する「おかやましんきんSDGsアワード」の創設。
③「SDGs寄付型私募債」の取扱い。
他にも、「おかやまプラスチック3R宣言事業所」の登録、若手経営者の会「おかやまPRODUCE」を主体として、岡山県・岡山市・大学等と連携し、「持続可能な経済・環境保全による地域ブランディング」に取り組んでいます。

取組目標・目的

当金庫は「SDGsに向けた取組みの推進」を中期経営計画の主要施策としています。地域やお客様の課題を把握し、その解決に取り組むことでお客様の事業価値・生涯価値の向上、さらには永続的な地域価値の向上を目指しており、地域の皆様と協働してSDGsに取り組む活動や「おかやま」の街としての魅力を高める活動が、SDGsの目指す「誰一人取り残さない」社会の実現に繋がるものと考えています。



価値創造部 小倉 直樹

担当者からのコメント

当金庫は、地域の皆様の豊かな生活の実現や中小企業の発展に向けて活動し、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。こうした当金庫の活動自体がSDGsの提唱する全てのターゲットと合致しています。今後も地元「おかやま」の皆様とともに地域の活性化に取り組んでまいります。

岡山土地倉庫株式会社



企業概要

1935年に創立、県内需要ポイント5か所で営業倉庫を展開する物流企業。保管、流通、加工、運輸・配送、情報、サービスを統合、物流コンサルタントとして高付加価値サービスを展開。

問い合わせ先

担当部署 / 管理部総務課

岡山市東区光津700番地
TEL 086-948-9606
FAX 086-948-9607
E-mail y-harumori@okatochi.jp
http://www.okatochi.co.jp

岡山土地倉庫におけるSDGs活動



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

近年では、地球温暖化・大気汚染などの環境問題が多く発生しています。またコロナ禍でのリモート会議やテレワーク等、働き方も大きく変化しています。このような環境・社会問題をSDGsを通して、解決していこうと考えました。「環境問題」を解決することや「働きやすい職場環境」を作る取り組みを行うことで、社会貢献・従業員の意識改善につながります。日々の仕事の中で何気なくやっていたことが、SDGsに繋がっていることも多くありました。それらは継続して行い、新たに取り組み内容を考え活動していこうと思いました。

取組内容

短期目標として、①「モバイル端末の追加導入」です。リモート会議や渉外活動などの効率化のため、モバイル端末を導入していましたが、追加導入を行うことでさらに効率化の促進につながっていきます。次に中期目標として、②「グリーン経営」の推進です。「グリーン経営」とは環境保全を目的とした取り組みを行っている運輸業者に対する認証制度で2009年より継続して認証を受けていますが、さらに環境保全への取組みを強化していきます。最後に長期目標③「バッテリー式フォークリフトの普及」です。エンジン式フォークリフトをバッテリー式フォークリフトへ段階的に移行します。また、バッテリー式についても現行の鉛バッテリーからリチウムイオンバッテリーへ切替を検討しています。

取組目標・目的

- ①今年度10台程度を追加導入
コロナ禍でリモート対応できるリソースの確保を行い、会議や営業渉外活動の効率化(資料共有、提示等)によりES・CSの向上につながります。ペーパーレス化・移動距離の削減により、環境にも配慮することができます。
- ②電気使用量:前年度3%削減
燃料使用量:前年度2%削減
自社電灯をLED化し、電気使用量の削減を行います。こまめに電気を消すなど全従業員が意識を持って取り組むことで、CO₂・排気ガス等の大気汚染の排出を削減します。
- ③バッテリー式フォークリフト普及率の向上
リチウムイオンバッテリー車への切替
エンジン式のフォークリフトは燃料を燃焼させて稼働していますが、バッテリー式のフォークリフトは電力を動力とするため、排気ガスを排出しません。また、リチウムイオンバッテリーに切替えることで経済面やメンテナンス面などにメリットがあり、段階的に移行する予定です。



管理部総務課 春森 悠里

担当者からのコメント

「持続可能な取組み」
この考えを念頭において、取組内容を考えました。会社として取り組むには、全従業員の共通認識が必要です。こまめに電気を消すなど日常生活の中で取組めることを行い、一人一人の意識が変わり何十年後という未来に、少しでも貢献できるように活動していきたいと思っています。

岡山プラザホテル株式会社



企業概要

1963年会社設立。岡山プラザホテル、津山鶴山ホテルの2つのホテルと吉備サービスエリア、おさふねサービスエリアの経営。

問い合わせ先

担当部署 / 総務部

岡山市中区浜二丁目3番12号
TEL 086-272-1201
FAX 086-273-1557
E-mail madono@oplaza-h.co.jp
https://www.oplaza-h.co.jp/

お客様に安心・安全の快適な空間を提供



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

社長が医師であり、弊社グループでは健康でいることは会社の利益と考え、「健康経営」を宣言し、取り組んでいます。健康診断、ストレスチェック等は勿論、禁煙教育と受動喫煙の被害について理解することが最も重要と考えています。

取組内容

ホテル内では、岡山県内では業界で最も早く完全分煙を導入し、館内においていた灰皿を完全に撤去し、灰皿供養会も行いました。また、毎年1~2月に社員全員が参加して教育研修会を開催し、受動喫煙による健康被害についての教育を徹底。お客様に正しい情報を発信できるように持続的な禁煙教育を行っています。

取組目標・目的

禁煙も含め、自分の体をいかに守っていくかが重要です。健康を維持するには正しい知識で正しい対策を実行することです。家族のため、社会のためにも健康である努力、病気を正しく理解し、早期に治癒する努力は何よりも重要な努めです。



常務取締役 真殿 賢一

担当者からのコメント

「健康経営」を宣言し、社員とその家族、また地域の皆様が安心して朗らかな生活を送れるよう、健康増進に取り組んでいきます。



企業概要

岡山・香川をエリアとするフジテレビ系列のテレビ局として、1969(昭和44)年4月に開局。2014年にJR岡山駅前のイオンモール岡山に「OHKまちなかスタジオミルン」を開設し、番組制作などの機能を移設しました。昨年7月に岡山市中心部の「社の街グレースオフィススクエア」に本社を移転し、ミルンとの市街地中心部2拠点体制で、より地域に密着した情報発信はもちろん、まちづくりにも貢献するテレビ局を目指しています。また昨年3月に「SDGメディア・コンパクト」に加盟し、自社の活動だけでなく、ゴールズに対する認識を高め、達成に向けた行動の活性化も支援しています。

問い合わせ先

担当部署 / 総合企画局総合企画部

岡山市北区下石井二丁目10番12号
TEL 086-941-8881
FAX 086-232-8081
E-mail k-fukuda@ohk.co.jp
https://www.ohk.co.jp/



企業概要

1854年(安政元年)創業。学校制服・体操服に代表される「ものづくり」と、子どもたちが未来を生きるために必要な力を育む「ひとづくり」を通じて、子どもたちと学校を取り巻くさまざまな社会課題を解決するスクールソリューションカンパニー。

問い合わせ先

担当部署 / カンコー学生工学研究所

岡山市北区駅元町15番1号 岡山リットシティビル5F
TEL 086-898-2500
FAX 086-898-2510
E-mail info@kanko-gakuseifuku.co.jp(代表)
https://kanko-gakuseifuku.co.jp

LGBTQ(性的少数者)など多様性に配慮した学校制服の研究、出張授業・講演会の実施



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

年齢、性別、国籍、障がい、アレルギー、体型、成長、価値観、宗教、生活環境など、様々な子どもがいます。特に近年は、LGBTQの子どもの悩みが顕在化しています。日本のLGBTQの方々の割合は10人に1人という調査データもあり、仮に学校で30人程度のクラスに置き換えると、クラスの中の3人前後があてはまることとなります。その中でもトランスジェンダーと呼ばれる自身の体の性に違和感を感じている方々が制服を着ていることに悩みを抱えてきたことを知りました。そこで当社では、ジェンダー平等の実現のために、スカート・スラックス着用の選択制の導入の提案・推進、ジェンダーレスなデザインの制服の開発、トランスジェンダーの方々に配慮した制服の研究をスタートしました。

取組内容

自社の研究機関である『カンコー学生工学研究所』では、まずはLGBTQの当事者の声をお聞きしたいと考え、2019年からGID(性同一性障害)学会に参加しています。そこで当事者の方の声を集め、「学生時代、自認の性の制服を着ることができなかったのが嫌だった一方で、制服には強い憧れがあった」ことなどをお聞きし、男女兼用で着ることのできる性差を強調しないジェンダーレスなデザインの制服の研究・開発・提案を行っています。また、性の多様性への理解を深めるためには、環境を整えることが重要だと考え、男性として生まれ、現在は俳優・講師として活躍される西原さつきさんの講演会を全国の学校で開催しています。子ども・保護者・先生を対象に、正しい知識を身につけ、それぞれの立場での悩みや気づきを共有する場を提供しています。

取組目標・目的

子どもたちが自分らしく生きることのできる社会づくりのために、多様性に配慮した制服の研究と教育機関への提案を行うとともに、地域、学校関係者や有識者の方々と一緒に、制服づくりの枠を超えて、出張授業や講演会や情報提供など様々な活動を行います。そして、子どもたちと学校を取り巻く様々な社会課題を解決するスクールソリューションカンパニーとして、子どもたちの「未来を生きる力」を育むことを目標に取り組んでいます。

担当者からのコメント

カンコーは、子どもたちを「カラダ」「ココロ」「時代」「学び」の4つの視点で見つめる「学生工学」という活動を続けてきました。性の多様性に限らず、安心して快適な学生生活の実現を目指して、企業、学校、地域の皆さまと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

カンコー学生工学研究所 部長 羽富 裕也

“誰一人情報から取り残されない”情報のバリアフリー社会の実現を目指した取組み



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

「手話が語る福祉」は「手話は言語」を理念に、聴覚障害者・手話通訳者・テレビ局の3者で「手話放送委員会」を立ち上げ、的確な手話表現をテレビを通じて届けることで、手話の理解を促進するとともに、手話放送のモデルケースを目指して活動を開始しました。また「アナウンサー出張朗読会」では朗読を通して本を読む楽しさやコミュニケーションの大切さなどを伝える社会貢献活動として開始し、持続可能な社会づくりに貢献するものとして評価されています。音訳活動では、生活情報や児童書分野での録音図書が少ない現状から、「さりお」や「OH!くん絵本シリーズ」の音訳を通じて、視覚障害者の読書環境の改善を目指しています。

取組内容

「手話が語る福祉」は「手話は言語」を理念に、聴覚障害者へ情報を届け続け、今年で29年目を迎えます。2020年にはテレビ局の番組コンテンツとしては初めて内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞しました。また昨年9月23日の「手話言語の国際デー」に合わせて手話への理解や普及を目指す「OHK手話は言語キャンペーン」を実施するなど、取組内容は拡がりをみせています。「OHKアナウンサー出張朗読会」は小中学校や老人ホームなど、のべ130か所以上で開催し、11年目を迎える取組となりました。「令和3年日本民間放送連盟賞」特別表彰部門放送と公共性において、この活動がESDの理念を軸に情報のバリアフリーに発展させていく独自の取り組みと評価頂き、最優秀賞を受賞することができました。また昨年4月に視覚障害者への情報提供の取組として、音訳活動を開始しました。これら様々な活動を通じて、情報のバリアフリー社会の実現に向けて、そしてSDGs達成の一助となる活動を継続していきます。

取組目標・目的

共生社会の理解度は年々増していますが、情報弱者の存在がなくなることはありません。高齢者やあらゆるハンディキャップをもつ人々への情報アクセシビリティの改善と、具体的な行動が必要です。放送を中心とした事業活動を通じて、社会の課題解決、より良い社会の実現に貢献するとともに、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の「誰一人取り残さない」という基本理念のもと、放送局として「誰一人情報から取り残されない」情報のバリアフリー社会の実現を目指して活動を続けていきます。

担当者からのコメント

「手話が語る福祉」は聴覚障害者、手話通訳者、放送局の3者で設立した手話放送委員会と取り組んでおり、『OHK手話は言語キャンペーン』では岡山商工会議所の皆様のご理解・ご支援を頂きました。「アナウンサー出張朗読会」は地域の学校など各団体との連携や協力が不可欠であり、音訳活動はフリーペーパー「さりお」を発行する山陽リビングメディアとの協働で実現できた取組です。弊社だけでできる取組は一つとしてありません。OHKでは今後も様々なパートナーシップを推進していきますので、興味を持って頂いた企業・団体様はぜひお問い合わせ頂きますようお願いいたします。また「SDGメディア・コンパクト」加盟社として、報道・情報番組やイベントなどの事業活動を通じて、SDGsに関するテーマを積極的に取り上げ、社会の課題解決に向けた情報発信を進めていきます。皆さまのSDGsに関する取組情報がありましたら、ご提供をお待ちしております。

総合企画局総合企画部 担当部長 福田 賢治



企業概要

昭和36年創立し、「包装を通じて地域社会に貢献する」企業理念のもと常に環境調和性を意識した製品作りに邁進しています。
統合方針…私たちは、「お客様満足の向上」と「環境負荷の軽減」に継続的に取り組みます。

問い合わせ先

担当部署 / 総務部

岡山市東区栄甘370番地
TEL 086-279-1285
FAX 086-279-5061
E-mail ariyoshi@kyodo-dnet.co.jp(参与 有吉 浄)
<http://www.kyodo-dnet.co.jp>

環境負荷の軽減による持続可能な(地域)社会の実現への貢献



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

- ・近年地球温暖化の防止が叫ばれるようになって久しいが当社は創立以来、事業を通じて「地域社会への貢献」を常に意識した製品作りに専念しています。これまでの経験から地域への貢献が社会全体への貢献に繋がるものと確信し、日々着実に積み上げております。
- ・全国的に少子高齢化が加速している中、高齢者雇用にも積極的に取り組んでいます。雇用延長制度の活用により現在70歳以上の方が3名在籍され活躍頂いております。人手不足、技術継承の面のみならず、本人の働きがいや生きがいにも繋がっています。

取組内容

- ①製造、事務、営業全ての部門において環境課題を抽出し改善に向けての取組みを実践中。
- ②統合MS委員会を毎月開催、課題解決の進捗状況・問題点を確認。
- ③年2回改善提案を全社員から募り、改善のみならず個々の問題意識の醸成も図っています。
- ④具体的な取組み例
 - ・使用燃料の削減(工場電力、重油、営業車燃料、事務所電気、水道等)各部署で使用状況チェック。
 - ・排水設備、ボイラー設備等の抽出基準順守、性能検査の実施。廃棄業者の認可状況チェック。
 - ・エコ商品(事務用品等)の購入促進、環境教育の実施、等々。

取組目標・目的

- ・FSC森林認証、ISO9001、14001の認証取得。
上記認証取得により、自社のみでの取組だけでなく外部機関のチェック、助言を受ける事で幅広く、深度のある環境問題への改善が継続的に図られています。
- ・近年の気候変動による豪雨災害等の発生、南海トラフ地震等への備えとしてBCP(事業継続計画)への取組みを開始しております。従業員、家族の安全確保を最優先とし、被災しても必ず回復する災害に強い企業体質を作り、お客様への供給責任を果たし、信用の維持に努めて参ります。

担当者からのコメント

環境問題については、個人・家庭等の小さな取組みの集積が大きな改善に繋がります。企業も同様で規模の大小にかかわらず、自社で出来る身近な事を日々重ねる事で大きな成果を上げることが出来るものです。一社でも多くの会社が日々意識を持って取組むことを願っております。

品質保証室 室長 入江 賞年



企業概要

洋菓子製造販売。
お誕生日などのお祝いケーキをメインに、HPで受注販売をしています。
受注販売にすることで、世界で問題視されている『食品ロス』の低減活動にも努めています。

問い合わせ先

岡山市東区瀬戸町沖3番地
TEL 086-952-3707
E-mail info@pomme101.com
<https://pomme101.com>

こどもバースデー基金誕生日ケーキプロジェクト



解決したい地域課題・社会課題の内容、活動を始めたきっかけ

困窮家庭の子どもにも、大切なお誕生日に笑顔をお客様にケーキをご購入いただき「ご家族の皆様笑顔と幸せな時間をお創りする」というのを当たり前にしてきましたが、2019年にSDGsについて学んだこと・新型コロナウイルスの影響で世の中が支え合う環境に変化したこと・母子家庭で育ち寂しい幼少期を過ごした方が身近にいたこと、などが重なり「ケーキを通じて何かできないか」と考えるようになり、困窮でお子様のお誕生日にお祝いしたくてもしてあげられないご家庭が多い事を知り、NPO法人チャリティーサンタさんとこのプロジェクトをスタートしました。

取組内容

岡山市に登録している、生活保護や就学支援を受けている困窮家庭に毎月抽選でお誕生日ケーキを当店からケーキ5台に加え、企業様や個人様に寄付いただいた中からケーキをプレゼントしています。
NPO法人チャリティーサンタさんとコラボすることにより、抽選から受け渡しまでスムーズにできるような仕組みを作りました。今後はさらに沢山のプレゼントができるよう協力者(ケーキ屋・支援者)を増やしていく活動をしています。
<https://pomme101.com/sdgs>

取組目標・目的

「こどもも誰1人として取り残さない。」という観点で自社で提供できるケーキをもって活動しています。一生に一度のお子様のその歳のお誕生日をどんな状況でもご家族で笑顔で楽しい時間を過ごしていただき、幸せな思い出を作ってください。お子様も家庭の状況は敏感に分かれていますと思うので、大きくなったときに両親や支えてくれた大人を思い出し、暖かい心の成長となって、また次の支援に繋がっていくのが目標です。単発で終わらせていくのではなく長期的に続けて行かないと得られない事なので、今後も支援の輪が広がるように続けて行きます。

担当者からのコメント

2021年8月からスタートし、寄付金も集まり始め少しずつプレゼントできる数が増えました。視野を広げると今まで知らなかった切実なお声が聞け勉強になっています。まだまだ勉強不足ですが本当に困っている方のお子様にも、お誕生日は笑顔で過ごしていただき素敵な思い出を作りたいです。

代表 岩藤 こず枝